

■穂高墓地公園 合葬式墳墓の建設始まる

複数の遺骨を一緒に埋蔵する合葬式墳墓の起工式が6月5日、穂高墓地公園で行われました。市が平成27年度に行った市営霊園に関するアンケートでは、4割を超える市民が将来のお墓の管理に「不安や心配がある」と回答。その中でも「親族はい

るが承継してもらえないか不安」などの理由が多くを占め、個人の管理が必要ない合葬式墳墓の建設が求められていました。宮澤市長は、「お墓の管理が難しい皆さんも安心してご利用いただける施設にしたい」とあいさつしました。

合葬式墳墓は、天然石を外壁に使用した鉄筋コンクリート造りの平屋建てで延べ床面積は22・17平方メートル。納骨棚に一定期間保管後、共同埋蔵室へ永代埋蔵する個別埋蔵室(340体分)と最初から他の遺骨と一緒に永代埋蔵する共同埋蔵室(800体以上)を備えます。総事業費は3246万円で、来年1月から使用を開始する予定です。



合葬墓の完成イメージ

■「全国都市緑化信州フェア」実行委員会が設立

「第36回全国都市緑化信州フェア信州花フェスタ2019」北アルプスの贈り物」の実行委員会設立総会が6月24日、松本市内で行われました。

このイベントは、県松本平広域公園をメイン会場、県鳥川溪谷緑地、国営アルプスあづみの公園をサブ会場とし、平成31年4月25日から6月16日まで開かれます。

来場者は50万人を見込んでおり、花と緑の展示、シンポジウムや出展を対象としたコンテストの開催なども計画されています。実行委員会は、長野県、松本市、大町市、塩尻市、安曇野市など関係者で構成され、都市緑



関係自治体の首長が一堂に会する

■協働のまちづくりの実現を目指して

市では、「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき各施策の推進と評価検証のため、第3期策定・評価委員会をこのほど設置しました。6月22日に

は、市役所で14人の委員への委嘱を行い、会長には栗田晶さん(信州大学准教授)が互選されました。現計画は、平成26年度から30年度までの5カ年分、協働の



委嘱書を手渡す宮澤市長(写真左)

推進体制や、具体的な行動計画を明確に示しています。今後は、アンケート調査による現状把握や協働のまちづくりフォーラムを開催し、先進地視察なども行いながら現計画の総括を進め、平成30年度末に新しい方針と行動計画を策定する予定です。

高齢者の生活を支える

「生活支援サービスガイドブック」完成

市ではこのほど、「生活支援サービスガイドブック」を作成しました。

このガイドブックは、市内5地域ごとに配置された生活支援コーディネーターや高齢者福祉関連団体などからなる協議体と連携し、高齢者が自宅で元気に生活を続けられるための情報をまとめたものです。具体的には、地域ごとにある介護予防(健康体操やサロン活動、趣味娯楽などの生きがい活動等)や生活支援サービス(配食サービス、配達、ゴミ出しボランティア等)が掲載されています。

高齢者福祉の関係者を中心に配布していますが、希望者には無料で配布しています。詳しくは介護保険課まで問い合わせください。



☎介護保険課
介護保険担当
(TEL)71・2472
(FAX)71・2503

ご活用ください。

健康長寿のまちづくり推進事業補助金

健康増進や介護予防のために健康づくりの活動を行う団体に補助金を交付します。

- 補助対象 健康体操、軽体操、ウォーキング、ヨガ教室等で高齢者の運動機能の向上を目的としたもの。
 - 対象団体 次の条件を満たす団体▷代表者が市内に住所を有していること▷60歳以上の市民が8人以上含まれること▷2カ月に1回以上の活動実績があること▷市・社会福祉協議会等から補助金の交付を受けていないこと▷市から当該団体に加入を希望している市民の受け入れ要請があったときは原則として受け入れが可能であること。
 - 補助金額 講師謝礼、会場使用料の半額。ただし年間6万円が上限。
 - 申請方法 長寿社会課(1階13番窓口)で申請できます。詳細は、長寿社会課まで問い合わせください。
- ☎長寿社会課長寿福祉係 (TEL)71・2254 (FAX)71・2328